

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成25年3月28日(2013.3.28)

【公開番号】特開2012-5402(P2012-5402A)

【公開日】平成24年1月12日(2012.1.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-002

【出願番号】特願2010-143376(P2010-143376)

【国際特許分類】

A 2 3 L 1/48 (2006.01)

A 2 3 L 1/00 (2006.01)

【F I】

A 2 3 L 1/48

A 2 3 L 1/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月1日(2013.2.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヤマノイモ属植物の可食部を原料とする、フィルム状食材。

【請求項2】

含有される粘性物質に由来する機能性または粘性の少なくともいずれか一方が残存していることを特徴とする、請求項1に記載のフィルム状食材。

【請求項3】

前記ヤマノイモ属植物がナガイモであることを特徴とする、請求項1または2に記載のフィルム状食材。

【請求項4】

ヤマノイモ属植物の可食部から分離された粘性物質含有材料と、糊料とを混合する混合過程と、該混合過程により得られた混合物をフィルム状に成形する成形過程とを備えていることを特徴とする、フィルム状食材製造方法。

【請求項5】

前記混合過程において、前記糊料は、前記粘性物質含有材料中の粘性物質の機能性もしくは粘性の消失を防止できる程度の温度で混合されることを特徴とする、請求項4に記載のフィルム状食材製造方法。

【請求項6】

前記粘性物質含有材料は、前記ヤマノイモ属植物可食部の擂り下ろし物を遠心分離処理して得られる上清であることを特徴とする、請求項4または5に記載のフィルム状食材製造方法。

【請求項7】

前記糊料には、ヤマノイモ属植物を原料とするヤマノイモ属製糊料が用いされることを特徴とする、請求項4ないし6のいずれかに記載のフィルム状食材製造方法。

【請求項8】

前記ヤマノイモ属製糊料は、前記ヤマノイモ属植物可食部の擂り下ろし物を遠心分離処理して得られる残渣を原料とすることを特徴とする、請求項7に記載のフィルム状食材製造方法。

【請求項 9】

前記ヤマノイモ属製糊料は、前記ヤマノイモ属植物可食部の蒸煮物を原料とすることを特徴とする、請求項 7 に記載のフィルム状食材製造方法。

【請求項 10】

前記蒸煮物には、製造されるフィルム状食材を吸水させた場合でも容易には溶解しない程度に水溶性減少効果を発現するのに充分な程度にヤマノイモ属植物纖維が含まれていることを特徴とする、請求項 9 に記載のフィルム状食材製造方法。

【請求項 11】

前記ヤマノイモ属植物がナガイモであることを特徴とする、請求項 4 ないし 10 のいずれかに記載のフィルム状食材製造方法。

【請求項 12】

請求項 4 ないし 11 のいずれかに記載のフィルム状食材製造方法を用いて製造される、下記 < A > の応用製品。

< A > 可食性フィルム状体、他食材用包装材、他食材調味用フィルム状体

【請求項 13】

ナガイモを原料とする、フィルム状物。

【請求項 14】

ナガイモ蒸煮物またはその遠心分離物を原料とする、フィルム状物。

【請求項 15】

ナガイモから分離された粘性物質含有材料と、糊料とを混合する混合過程と、該混合過程により得られた混合物をフィルム状に成形する成形過程とを備えていることを特徴とする、フィルム状物方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

(9) 前記ヤマノイモ属製糊料は、前記ヤマノイモ属植物可食部の蒸煮物を原料とすることを特徴とする、(7)に記載のフィルム状食材製造方法。

(10) 前記蒸煮物には、製造されるフィルム状食材を吸水させた場合でも容易には溶解しない程度に水溶性減少効果を発現するのに充分な程度にヤマノイモ属植物纖維が含まれていることを特徴とする、(9)に記載のフィルム状食材製造方法。

(11) 前記ヤマノイモ属植物がナガイモであることを特徴とする、(4)ないし(10)のいずれかに記載のフィルム状食材製造方法。

(12) (4)ないし(11)のいずれかに記載のフィルム状食材製造方法を用いて製造される、下記 < A > の応用製品。

< A > 可食性フィルム状体、他食材用包装材、他食材調味用フィルム状体

(13) ナガイモを原料とする、フィルム状物。

(14) ナガイモ蒸煮物またはその遠心分離物を原料とする、フィルム状物。

(15) ナガイモから分離された粘性物質含有材料と、糊料とを混合する混合過程と、該混合過程により得られた混合物をフィルム状に成形する成形過程とを備えていることを特徴とする、フィルム状物方法。